

編集委員会



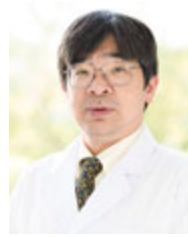
森脇 真一先生



梶本 宜永先生



上杉 康夫先生



萩森 伸一先生



新田 雅彦先生



津田 泰宏先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生



池田 宗一郎先生



平松 亮先生



岩本 充彦先生

編集後記

新型コロナウイルス感染もようやく「ふつうの風邪」になり始め、京阪神でも繁華街には活気が戻り、観光名所ではキャリーバッグを持った国内外の観光客があふれています。私もようやく非日常を脱した「普通の生活」の楽しさを感じている今日この頃です。

この度、大阪医科薬科大学医師会会報第61号が完成しましたのでお届けいたします。

毎回会報のハイライトである座談会のテーマは今回、「化学療法センター」です。同センターのこれまで歩んでこられた発展の歴史、現況、そして今後ますます症例増が期待されるがんゲノム医療を含む今後の方向性がよくわかる内容となっております。お忙しい中座談会にご出席賜り活発なご議論をいただきました本院化学療法センター関連スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。当院化学療法センターの発展に長年多大なるご尽力をしてくれました故・瀧内比呂也教授がこの場におられないのが非常に残念で無念ではありません。

医学部学生教育も近年大きな変換期を迎えております。共用試験の公的化、スチューデントドクター制導入など、国の新たな方針、医学生の医療行為の法制化に合わせた本学医学部教育の新たな取り組みを医学教育センターの瀧谷公隆先生に「最近の動き」でご紹介いただきました。

「会員の広場」では長年本院において感染症対策にリーダーシップを発揮されご尽力されてこられた浮村聡先生によるCOVID-19対策の総括と退任のご挨拶がございます。

恒例の「医療統計シリーズ」、「新医療安全シリーズ」は毎号内容が充実しており、私自身も大変勉強になっております。「ここがすごい!我が診療科」、今回は脳神経内科、リウマチ膠原病内科、放射線腫瘍科です。各科の特徴、アピールポイントがコンパクトにまとめられています。ぜひ会員の先生からの患者紹介もよろしく願いできましたら幸いです。会員の先生主催の学会活動も盛んです。徐々に現地参加者が増えてきているようで、ここでもアフターコロナを感じています。

大阪府医師会勤務医部会は50周年を迎えました。我々の医師会は勤務医部会の第2ブロック(三島地区)に属しています。新年を迎え、会員の先生方の今後の益々のご発展を祈念いたしますとともに、お忙しいとは存じますが当医師会活動へのご指導、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

会長 森脇 真一